※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な地名、地理的事象に関心を持つ。
・世界の気候、産業などに興味を抱き、系統的に理解する力を身につける。
・地球上のさまざまな民族の生活や文化を知り、その背景にある地理的要因を考える。
・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をします。毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておく。

２　学習の到達目標

・学習を通じて、世界各国・地域の民族や文化に関する基本的な知識を身につける。（知識・技能）
・現代世界の課題を地理的知識と結びつけ地理的観点から考察することができる。（思考・判断・表現力）
・地理的事象を分析する上で、必要な基礎知識を身につけ、実生活に役立てる方策を身に付けることを目標とする。（学びに向かう力、人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習において、積極的に取り組み、授業内においての話を聞く態度や発問への応答ができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図や地理情報システムと現代世界	1.地球上の位置と地上の現象 2.経度の違いと時差 3.球体と平面の世界 4.地図の種類 5.地理情報システムの利用	a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだしている。″	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見･考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント･ノートへの加筆(メモ) プリント･ノート提出
	結びつきを深める現代世界	1.国家の領域と国境 2.地図から見る日本の位置と領域 3.グローバル化と多様な結びつき 4.拡大する貿易 5.世界を結ぶ交通･通信 6.観光と人の移動のグローバル化	a:世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。 b:国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的･多角的に考察し，表現している。 c:国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。″	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見･考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント･ノートへの加筆(メモ) プリント･ノート提出

※令和４年度以降入学生用

二学期	生活文化の多様性と国際理解	1.生活と地形の関わり 2.河川がつくる地形と人々の生活 3.海岸の地形と人々の生活 4.氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 5.生活と気候の関わり 6.熱帯の気候と人々の生活 7.乾燥帯の気候と人々の生活 8.温帯の気候と人々の生活 9.亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 10.生活を支える農業の発展 11.生活を支える工業の発展 12.宗教・民族・言語の多様性 13.国際理解を深めるために 14.世界からみた日本の生活文化	a:世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
	地球的課題と国際協力	1.地球的課題と解決に向けた目標 2.人口の増加と少子化・高齢化 3.地域で異なる人口問題と取り組み 4.飢餓と飽食 5.都市への人口集中 6.地域で異なる都市・居住問題と取り組み 7.広がる感染症と衛生問題 8.限りある資源・エネルギー 9.地域で異なる資源・エネルギー問題と取り組み 10.国境を越えて広がる地球環境問題 11.地球温暖化と国際的な取り組み	a:地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。″	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

三学期	自然環境と防災	1.日本の自然環境と人々の生活 2.地震･津波のしくみと被害 3.地震･津波災害と地域の取り組み 4.火山の恵みと噴火による被害 5.火山災害と地域の取り組み 6.地震･津波や火山活動への対策と共生の道 7.さまざまな気象災害 8.気象災害と地域の取り組み 9.気象災害への対策と備え 10.減災への取り組みと被災地への支援	a:自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。″	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見･考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント･ノートへの加筆(メモ) プリント･ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度